

20022

緊急心臓カテーテル検査患者の早期入室に向けての取り組み

¹徳山中央病院

魚谷 里香¹、 蒔 ひとみ¹

目的：平成 26 年度当院の心カテ決定からカテ室入室までの時間は平均 44.5 分であった。入室までの記録は、全患者対応の救急記録用紙を使用し心カテ決定後の定期処置をその都度記入している。カテ室ではカテの介助を看護師一人に対応しながら申し送りを受けている。救急外来での記録とカテ室での申し送りを短縮することで door to device time の短縮に繋がると考えた。そこで、入室までの時間短縮と申し送りゼロを目指し緊急心臓カテーテル検査連絡表を作成し使用した。方法：入室までの定期処置を体系的に羅列しチェック方式の連絡表を作成した。申し送りが不要になるように心カテに必要な情報を追加した。早期再灌流の意識付けを目的として症例の発症時間・病院到着時間・心カテ決定時間・再灌流時間を追加した。連絡表完成後の夜間、休日の緊急心カテにおいて連絡表使用と従来の救急記録使用の記録から心カテ決定からカテ室入室までの平均時間を計測し比較検討した。連絡表を使用した看護師にアンケートを実施した。結果：連絡表使用患者のカテ室入室までの時間は平均 28.8 分、救急記録使用患者平均 28.3 分で時間の短縮はなかったがアンケートで 67%の看護師が記録の時間が短縮されたと回答した。結論：カテ室入室までの時間の短縮には繋がらなかったが連絡表を使用し時間短縮に繋がったと感じている看護師もいた。連絡表使用後では、申し送りがゼロにはならなかった。